



下五島地区合同堅信式 浦頭教会 2012年 1月22日

島のひかり ホームページアドレス

<http://lifeaidgoto.jp.cx/simanohikari/>

発行

カトリック浦頭教会
 広報委員会
 五島市平蔵町2716
 TEL 0959-00072
 印刷・(株)才津印刷所

『みんなで成長』

主任司祭 岩崎 晋吾

三月、黙想会が行われ、今年
 は二〇一四年に開かれるシノド
 スに向けて分ち合いを行いま
 した。初めてのことで不安と戸
 惑いがありました。皆さんの
 ご協力ご理解を受け、おかげで
 有意義で実りある時間を過ごす
 ことができました。

三日目のまとめの話の折に感
 想をお聞きしましたが、またやっ
 てみたいという意見もあり、共
 同体の中での分ち合いの必要
 性を感じられた方もおられたよ
 うでした。「神との語り」に
 ついては、個人でも共同体でも
 祈りを通して私たちは行います
 が、私達信徒同志が教会につい
 て信仰について、あるいは家庭
 についてなど話し合うこと
 などがなかったにないことです。以
 前から言っておりますように、
 私たちは、個人で神の国とい
 う目的地向かっているのでは

ありません。そもそも私だけあ
 るいは私の家族だけ救われると
 いうことは、キリスト者として
 私たちが一番大切にしている
 「愛の掟」から考えてみてもそ
 れはあり得ません。また、神の
 望みでもないことが分かります。
 教会の祈りはすべて「わたした
 ち」で祈ります。全ての人が救
 われるために教会は存在し、ま
 た、わたしたちもその救いの為
 に信仰を生きています。

さて、今回の分ち合いの中
 で皆さんからの要望などもお聞
 きしました。分ち合ったとい
 う経験そのものにも価値があり
 ますが、せっかく分ち合った
 のです。あの中での皆さんの意
 見も大切にしたいと思います。

本年度も地区集会を行う予定
 です。あらためて今回出された
 要望などを含め、分ち合っ
 てみたいと思います。今回の経験
 を糧に、教会全体で救いの道を
 歩んでいきましょう。

黙想会を終えて

—シノドスの為の分かち合い—

黙想会は、三月十二日〜十四日の三日間、シノドスへ向けての『分かち合い』というかたちで行われました。

振り返ってみますと、黙想会の準備は昨年の秋の地区集会から始まっていたわけですが、物事は遠い準備と近い準備があつてうまくいくものですが、その両方を上手に実行してきたことが分かち合いの充実につながつたと思つていきます。

① 遠い準備

昨年の秋から地区集会を行い、教区より配布されたアンケートをみんなで読んで確認しました。この時は分かち合いを行ったのではなく、分かち合いでアンケートを使用する場合の可能性を見るためでした。読んでみますと、このままアンケートを使用していくことは難しいという意見があり、『分かち合いの手引』を作成するようになりました。

② 近い準備

黙想会十日前、分かち合いの朝の部四グループ、夜の部六グループのそれぞれの進行役と書記の事前準備を行い、分かち合いの進行方法、注意点と作成した手引の確認を行いました。その後、確認した手引を黙想会一週間前に信徒の皆さんへ配布。皆さんにも準備をしていただきました。

今回の分かち合いは、大きく二つの目的があつたと思つていきます。一つはできるだけ多くの人が分かち合いに参加する場を設けるといふことです。そのために黙想会が一番良い機会だと考えました。もう一つはシノドスに向けての意識を高めるといふことです。教会の成長をみんなで作る、みんなで生み出すとするとする体験の場、それが今回の分かち合いだったと思つていきます。

分かち合いは終わりましたが、シノドスはこれから始まります。これからも御協力ください。

平成24年度 浦頭小教区評議会役員名簿

評議会会長(主任司祭) 岩崎 晋 吾		信仰教育委員会 委員長 川口 護 副委員長 川口 孝章 会計 赤尾 健野 委員 小学校 浜崎 毅 中学校 赤尾 健野	
議長 長 竹 山 要 司 副議長 長 鍋 内 誠 次 書記 小 田 哲 也 計 浜 口 幸 隆 会 木 口 利 光	地区委員会 委員長 浦口 成人 会計 梅木 征至 (地区委員) (補佐委員) 浦 頭 浦口 成人 沼田百合枝 中尾 末隆 赤崎 京子 大 泊 梅木 征至 梅木 強 浜 泊 浜口 信行 江口 初子 堂 崎 入口 義則 入口 君子 嵯峨瀬 谷口 英子 宮 原 大楠 進 大楠 末子 半 泊 宮川 喜一	修道院長 Sr赤窄須美子 カテキスタ Sr田川(小1、2年) Sr松崎(小3、4年) Sr藤原(小5、6年) 岩崎神父様 堅信組(中1)	典礼委員会 委員長 本村 義則 副委員長 小田 哲也 委員 浜崎 和利 山本 一夫 浦口 一三 浜口 幸隆 浜崎 秀明 荒木 義弘 浜崎 毅(聖歌担当) 浜崎 哲司 江口 初子 川口 秀子 赤尾 克子
経済問題委員会 (堂崎天主堂保存委員会) 委員長 赤尾 一 美 会 計 木 口 利 光 小 田 内 誠 次 小 田 洋 市	シメオン・アンナ友の会 会 長 山 本 哲 巳 副会長・書記 富 上 静 枝 会 計 小 田 末 利	広報委員会 委員長 竹山 要司 副委員長(島のひかり編集長) 木口 重憲 会計 赤尾 淳 委員 浜崎 松一 木口 武雄 竹山 巧 入口 信 浜崎クニ子 江口 初子	
壮年会 会 長 浦 口 一 三 副 会 長 浜 崎 国 幸 書記会計 鍋 内 清	婦人会 会 長 鍋 内 初 恵 副 会 長 入 口 つるみ 書記会計 川 口 富 子		
青年会 会 長 副 会 長 書記会計			

”今、旅立ちのとき”

三月八日、移動信徒の集い

司会者にうながされ、前に立って、それぞれの進路を語る若人六名の言葉に、将来の夢に向かって歩き出そうとする強い決意が滲み出ている。

今年高校を卒業する彼等は、中学時代には、ロボットコンテストでも日本一になった仲間でもある。スポーツ面においてもバレーで活躍し、小学校時代はサッカー（フットサル）で県大会に出場する等、早い段階で大きな舞台も経験している。

就職、進学する彼等の後に、教会役員が自分達が学校を卒業して学んだ事、時に失敗談も織り交ぜながら語っていくと、聞き入る若者達の表情が食い入る様な視線に変わっていく。

役員の後に、保護者が我が子に対する気持ちを吐露していく。最初は少し客観的に語っていたが、だんだん気持ちが入って

くと、溢れ出す情が、器からこぼれる様に瞳から涙となって流れ落ちる。男親は、賑やかだった娘が出ていく事に一抹の寂しさを小言の中に含ませつつ、故郷を離れる彼女にエールを送る。それぞれの家庭がそれぞれの個性を生み出し、それぞれの夢や目標を持って新しい世界へ翔び出して行く。

彼等の未来に幸多かれと祈りながら、宴は若者達を旅立ちへと送り出した。



左から濱邊貴明・梅木愁平・川口凌・岩崎神父様・鍋内瑞希
赤尾さおり・濱口晴香（真鳥宏文君は用事の為欠席）

堅信式

一月二十二日、福江教会において二十一名の方々の堅信式が高見大司教様司式で行われました。浦頭教会からは、四名が受堅致しました。

天気は雨模様でしたが、参列者は心を合わせ受堅者の自発と自律ある信仰の恵みを聖霊の力によって願い、受堅者と教会の未来の為に祈りました。

感謝式での受堅者代表挨拶は浦頭教会の大浦優希さんでした。「ちゃんと覚えてから挨拶します。」と言っていた通り、大司教様の顔をしっかりと見て立派な挨拶ができました。

式後、浦頭教会の子供達四名は神羊館で祝賀式を行いお祝いしました。

子供達四名の決意を一言ずつ語ってもらいました。

二年間ありがとうございました。教会学校を無事におえることができました。これもみなさんのおかげです。ありがとうございました。

鍋内 漱

堅信を受けることができたのは、教会学校で勉強を教えてくださいました神父様やスタッフのおかげです。ありがとうございます。

大浦 優希

私達が堅信を受けることができたのは、色々な方々から支えられたおかげだと思います。教会学校はもう終わりましたが、これから頑張ろうと思います。

秦 和香

無事に堅信を終えることができて良かったです。ありがとうございます。これからは教会学校のことをたくさん頑張ります。

沼田 華佳

岩崎神父様の 霊名を祝う

二月十九日、日曜日パウロ三木（日本26聖人の一人）の霊名を頂いている岩崎神父様のお祝いがあった。



そのために、信徒による霊的花束を一週間実践し、二番ミサ後、信仰教育委員長の進行のもとに、祝賀式が行なわれた。

子ども達による、お祝いの言葉・霊的花束・花束の贈呈があり、喜びのうちに式は終わりました。

夕方からは、神羊館のホールに於いて、シスター方、子供達

二十名、大人四十名が参加し、盛大に祝賀会が行われた。

十字架上のパウロ三木の叫びを紹介します。

『ここにいるすべての人々よ、私の言うことをお聴きください。イエズス会の修道士です。なんの罪も犯してはおりません。ただ、私たちの主イエズス・キリストの教えを説きました。それだけで殺されるのです。私はこの理由で殺されることをこよなく喜び、私たちの主の大いなる恵みを感じます。今、死を前にして、私がどうしてあなたたちをあざむくことがありました。う。どうぞ信じてください。人の救いの道は、キリスト教以外にはないと断言します。あなたたちの迷いを私はさましたいのです。』

最近、歌も遠のいていたが、今回は、久しぶりに歌も出て、楽しいひとときを過ごすことが出来ました。岩崎神父様、健康に留意され、これからも私達信徒を御指導、宜しくお願い致します。

司祭団

マラソン大会

毎年、下五島を会場に行なわれる司祭団マラソン大会。

今年も一月三十一日好天候の中で行なわれた。今回は、福江教会信徒会館新築工事に伴ない浦頭教会がメイン会場となった。午前十時、教会下の駐車場で記念撮影。二十名の選手はスタート。コースは浦頭教会〜福江聖マリアの園折り返し約九キロで激戦が繰り広げられた。一般信徒も四名参加。ウォーキング参加者も五名程で、浦頭〜六方折り返し、その中には高見大司教様の姿も見られた。沿道には、保育園児、一般信徒など大勢の応援が見られた。この大会に当たっては、下五島地区役員による協力も光っていた。

ゴールには、平和のぼら保育園によるゴールテープ、可愛いお出迎えに選手達も笑顔にならざるをえない。中には「来年は

もう走らんど」と笑い。

午後からは、浦頭教会神羊館に於いて、食事が行なわれた。この準備に当っては、例年、魚の提供をして頂く川上さん、連合婦人会の接待。シメオン会による刺身造り、その中には橋口神父様の姿も。沢山の方々の御奉仕に感謝。マラソンの成績は一位 浅田神父様、二位 新立神父様、三位 鶴崎神父様。

眞浦神父様は九位、岩崎神父様は十位でした。主の平和のうちに。



初聖体

鍋内 清

岩崎神父様、本日は優海と玖
 怜彩に初聖体の秘跡を授けて頂
 き有り難うございます。この日
 を迎えるにあたり、今日まで二
 人に分かりやすく丁寧なご指導
 をして頂きました神父様、シス
 ター、保育園の先生方にも家族
 一同に代わりましてお礼申し上
 げます。また、たくさんの信者
 の皆様に共にお祝いして頂きま
 して感謝しております。

初聖体の秘跡を受けた二人は
 これから御ミサにあずかって、
 岩崎神父様から祝福ではなく、
 御聖体を拝領できます。二人は
 聖体拝領を受ける度にイエス様
 を受け入れ、その教えである、
 すべての人と互いに愛し合い、
 支え合い、優しくし合い、赦し
 合いますという誓いをたて、そ
 れを实践していかなければなり
 ません。私達家族も自分達の先
 祖から受け継いだ信仰を二人に
 引き継ぎ、今後、二人が自分の

中にしつかりとした信仰の土台
 を築きつつ成長していけるよう
 親として導いていかなければい
 けないと身の引き締まる思いで
 す。自分達が子供だった頃と比
 べ、二人だけの初聖体は少し寂
 しい気もしますが、人数が少な
 い分、信者の皆様にも顔を覚え
 て頂き易いのかなと思います。
 二人がわるさをしているのを見
 かけたら遠慮なくビシバシと叱っ
 て下さい。これからは教会だけ
 に限らず、学校行事や普段の生
 活において親子共々皆様のお世
 話になることが多々あると思っ
 ますので、ご指導の程、宜しく
 お願い致します。

本日は有り難うございました。



秘

跡

《聖信》 一月二十二日

アントニオ 鍋内 漱

クララ 沼田 華佳

クララ 大浦 優希

セシリア 秦 和香

《初聖体》 二月十二日

クリステイーナ 鍋内 玖怜彩

ヨゼフ 鍋内 優海

《帰天》

マリア 宮崎 八重野（八四歳）

二〇一二年一月十八日

《転入》

大浦 喜市・トメ

田川 小枝子（城山教会から）

木口 北斗・育美（八幡町教会から）

木口 雄史（福江教会から）

《転出》

木口 大地（植松教会へ）

川口 雄史（名古屋・刈谷教会へ）

人物往来

奥浦修道院

転出 ありがとうございます。

Sr 島本 藤子 福江修道院

Sr 白浜由美枝 福江修道院

Sr 吉永 光子 十字修道院

Sr 山下 千尋 本部修道院

転入 よろしくお願ひします。

Sr 田川美恵子 鯛之浦修道院

ありがとう

ご承知のことと存じますが、『島のひかり』は小教区の信徒の協力と故郷を遠く離れて生活している皆様の御芳志等の協力のおかげで活動が続けられます。私達も驕ることなく、弛み無い努力を続けて行きたいと思ひます。今年度もよろしくお願ひします。

浦 頭 木口 重憲 様

長崎市 匿 名 様

市原市 山口 ヨシノ 様

名古屋市 中尾 トシエ 様

岩瀬浦 峯 下 笑子 様

南アフリカ

ポリビア 富上 成美 様

浜松市 白浜 ノリヨ 様

楽しかった!!侍者旅行

去る、三月三十日、三十一日の両日、侍者八名と神学生、志願生を伴い、侍者旅行を行いました。

出発当日は海上が少し荒れておりまして、長崎に到着した時は少しぐったりとしていた子供達ですが、昼食を食べるころには元氣全開。そして、旅は始まりました。

一日目、佐賀武雄にある宇宙科学館へ向かい半日を過ごした。その後、長崎へ戻りペンギン水族館に向かいました。ですがなんと水族館は、夕方五時閉館。到着したのは四時四十五分、閉館寸前の時間で入館をあきらめました。

その後、夕食をとってボーリングを楽しみました。宿泊はカトリックセンターでしたが、子供達はなかなか寝付けず、いや眠らず夜遅くまで楽しんでいました。翌朝、浦上教会のミサにあずかり朝食をとって帰り支度に入ったのですが、また帰日も海上が時化しており、ジェットfoilは欠航。フェリーにて帰って参りました。まあ色々ありましたが、子供た

ちは楽しんでいました。子供たち、これからも典礼奉仕よろしくお願ひします。

以下は、子供たちの感想です。

三年 鍋内 凌空

ぼくはじしゃりょこうに行ってもずうちゅうかがくかんに行きました。まず、シャボン玉の中にはいたり、しゅんいちろうくんと、マイナス20どこのところに入ったりしました。さむかったです。じしんたいけんもしました。たい風のしくみも見ました。カトリックセンターにとまりました。ふろは、すぐく大きかったです。よるの二時までおきていました。また行きたいです。

三年 濱崎 沙也加

わたしは、春休みに、じしゃりょこうに行きました。まず、うちゅうか学かんに行きました。ジャングлы、まいなす20どのところに入りました。おもしろかったです。ペンギン水族かんは時間がなくて、行けませんでした。ちよとがっかりしました。今年も、じしゃをがんばって、またつれて行ってもらいたいです。がんばります。



宇宙化学館にて

三年 しらはま みく

わたしが一ばん楽しかったことは、ぼうりんぐです。ほんとうは、ペンギンすい族かんだったんだけど、5時までで、しまっていました。そして、たら、しんぶさまが、「ボーリングに行こう。」と言ったので、ボーリングに行きました。そして、うれしことがありました。ピンをぜんぶ一回でたおせました。うれしかったです。

四年 鍋内 優海

ぼくは旅行に行きました。さいしょは、うちゅう科学館に行きました。たくさん遊びました。次に、ペンギン水族館に行きました。でも、時間がおそすぎて終わってしまいました。くやしかったです。カトリックセンターにとまりました。次の朝、ゆめサイトに行きました。お父さんたちのおみやげを買いました。とてもうれしかったです。

四年 入口 駿一朗

ぼくは、じしゃ旅行に行つてうれしかったことがあります。それは、うちゅうかがくかんに行ったことです。ぼくは、りく君といっしょに、マイナス20℃のへやにはいりました。すぐく寒かったです。そのあとに、りく君と台風のしくみのところに行きました。すごかったです。カトリックセンターでは、よるの2時までおきてました。

六年 大浦 緋莉あかり

私は、3月30日から31日に長崎と佐賀に行きました。

一日目は佐賀宇宙科学館に行きました。本当はペンギン水族館に行く予定だったけど、時間がなくて行けませんでした。でもココスやポウリングなどにいけたのでうれしかったです。カトリックセンターもとてもたのしかったです。

六年 鍋内 颯太

ぼくは、じしゃ旅行で佐賀宇宙科学館に行きました。佐賀宇宙科学館でいろいろ体験をしました、特に記憶に残っているのは二つあります。一つ目はムーンウォーク体験です。めちゃくちゃ高くジャンプしました。二つ目は動物の目から見た世界です。動物がどんな風に見えるのかしらはなかったの、どんな風に見えるかを体験できてよかったです。またじしゃ旅行に行きたいです。

復活祭

ペタンク大会開催

春爛漫の好天に恵まれた今年の復活祭(4/8)でしたが、主の復活を信徒一同で分かち合い、互いの親睦を深めるための第一回浦頭小教区ペタンク大会が、奥小運動場で開催されました。

当日は小学生から90才を超える高齢者までの信徒や地域のペタンク愛好者の方々、更に会場を提供して頂いた奥小チーム等18チームが一堂に会し、チームプレーを通し家族の和や地域・友情の和はますます深まりました。岩崎神父様からの賞品提供による表彰式のあと、神羊館での懇親会も大いに盛り上がり意義ある復活祭の一日でした。

浦頭小教区において、信徒の最大の御祝い日である復活祭の恒例行事はなかったと思います。またペタンクは、全世代を通して参加できる生涯スポーツでもあり、来年の復活祭にも継続

したいものです。

※優勝・葉桜チーム

(赤尾敬子・大浦利子・赤尾喜代美)



H24年度 小教区信徒総会

平成24年度小教区信徒総会が、四月十五日開催されました。

23年度経過報告・会計報告に続き、24年度小教区行事予定及び会計予算案が提案され了承されました。

小教区信徒戸数も、現在186戸余りと減少傾向で厳しい運営が続きますが、二年後の45周年事

業に向け教会トイレ水洗化工事信徒負担金の集金時期についても確認がなされました。

また、神父様からは今年度における地区集会開催と、現在、午前五時半に開始されている日曜日一番ミサの土曜夜実施を検討するアンケート調査についての提案がなされました。

洗足は清めぬわて

復活祭に向かう聖なる三日間は、イエズス様が生きた時代の受難前のイメージを、神父様の姿の中に彷彿とさせる。

祭壇前のイスに座った四名。終わった後でインタビューした所、「神父様が話した、みんなを代表して足を洗ってもらう事で、愛を受け、愛を与えるんだという言葉が、自分の気持ちを厳かにしていききました。」

ヨハネ13章より
過越し祭の前に、イエズスは、この世から父のもとにうつる時が来たのを知り、この世にいる

ご自分の人々を愛し、かれらに限りなく愛をお示しになった。

おたより

主に平和・皆様方の一生懸命はげんでいる姿を知ることが出来、感謝しております。

どうぞ皆様方もお体に充分お気をつけ教会の発展のため、よろしくお願い致します。

長崎市 Sr赤尾スミエ

浦頭教会の信徒の皆様のご活躍を拝読させていただきました。なつかしさと嬉しさを心から感じました。私は水ノ浦教会の出身でございますが、四十年前頃に五島から、中学・高校を卒業して来られる移動信徒係を致しております。

市原市 山口ヨシノ

いつも、なつかしいお便り、ありがとうございます。皆様のご健康をお祈り申し上げます。これからも頑張ってください。

浜松市 白浜ノリヨ

ふるさとだより

手摺参道 浜泊墓地

念願の参道が、昨年十二月十八日、岩崎神父様の「清めの式」で完成した。

故・川口善助神父様を初め、川口清神父様、多くの方の多額の御寄付と住民、移転者の賛同の基、計画推進され、九月着工、十二月完成となった。感謝とお礼を申し上げます。



奥浦を美しく、心も



昨年度、奥浦小学校は、各県から2校が選ばれる環境美化教育優良校として表彰を受けました。これは、長年取り組んできた朝のボランティア清掃や奥浦地区の環境美化活動が評価されたものです。

平成二十四年度、児童数三十名と少なくなりましたが、新六年生を中心に下級生も一緒になって朝のボランティア清掃に取り組む、先輩の残したよき伝統をしっかりと受け継いでいます。少人数ではありますが、たいへん頼もしい子どもたちです。

ロボコン全国制覇

川口 良平

僕達は五島市大会、県大会、九州地区大会を勝ち抜き、一月に行われた東京での全国大会に出場しました。

十二月の九州大会では、三位になり悔しい思いをしたので、全国大会に向けて一ヶ月間、改良に改良を重ね、毎日一時間半以上の練習をしました。

全国大会当日は、緊張や焦りでミスがあり、予選リーグを二位で通過しました。決勝トーナメントでは立ち直り、勝ち抜くことができ、優勝することが出来ました。優勝の瞬間は今ままで一番嬉しかったです。今まで頑張ってきた良かったと感じることも出来ました。

ロボコンを通して、仲間の大切さを改めて感じ、いろんな方々の応援のありがたさを知ることが出来ました。そして、中学生活の中で一番の思い出になりました。

高校生になったので、これからはいろんなことを頑張ってきたと思います。応援ありがとうございました。

編集後記

見た目は細身だが、おなかのポッコリが気になる年頃となった。健康維持のために散歩を始めることを決意した。二週間ほど前からである。三日坊主の私だが、二週間続いていることは驚異的なことである。ウー川（正式名称は知らない）に沿って歩き小学校の前から教会の下を通るコースを選択した。子どもの頃、この川にフナ釣りに通っていたことを思い出す。むつ（はや）はよく釣れたが臆病で繊細なフナを釣り上げることは名譽であった。その頃は川幅も水深も、もっと深かったように感じたが、今は浅く水量も少ないように感じる。大人になり母校を訪れたとき、運動場が狭く感じるといふあの感覚だろうと思う。山桜が満開となった頃から始め、今はつつじが見ごろを迎えようとしている。トノサマガエルが冬眠から目覚め、日向ぼっこを始めた。自然の中に住んでいるが、これほど自然を感じたことは無かったように思う。ほんの二週間でめまぐるしく変わる春の風景に、年甲斐も無く感動している。

竹山 巧